



あきたの 地域医療通信

2009年5月 第4号

発行／秋田県健康福祉部医務薬事課
医師確保対策推進室



平成 20 年度から秋田大学医学部において「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」が実施されています。医師キャリア形成支援センター長である、伊藤宏教授からこの事業について、紹介していただきます。

連携大学と秋田県の専門医研修施設などが結集して推進する専門医研修

－秋田大学医師キャリア形成支援センターについて－

皆さま、こんにちは。昨年 11 月に発足した「秋田大学医学部附属病院・医師キャリア形成支援センター」を担当している伊藤です。

当センターは医学部卒業後 3 年目からの、専門研修医師のキャリアアップを支援する目的で、平成 20 年 11 月に設立されました。文部科学省が平成 20 年度から開始した「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」の一貫として国から助成を受け、秋田大学医学部附属病院内に設置されたものです。

ご存じのように医師として安全で高度な医療を確実に実践できるようになるには、卒前教育 6 年間プラス初期研修 2 年間の研修だけでは十分とは言えず、完全に独り立ちできる医師となるには卒後 10 年くらいはかかると言われていています。そのため、現在では多くの医師は 2 年間の初期研修修了後も、臨床現場で先輩医師の指導のもとに実際に医療を実践しながら修練を続けています。その間にほとんどの医師は、各領域の専門医資格や学位を取得するなどのキャリアアップを目指します。

初期研修は平成 16 年に義務化され、各施設の卒後臨床研修センターなどが中心となってプログラムの

充実化や初期研修医のサポート体制などが整ってきました。ところが専門研修（いわゆる後期研修）については、初期研修のような法や制令などにもとづく正式な体制整備がなされておらず、各医局や施設がそれぞれ独自の方法で行っているのが現状です。したがって後期研修においても、一律で効率的な体制を整えることが急務です。

医師キャリア形成支援センターでは秋田大学の各医局、県内の基幹病院および連携する大学病院の協力を得ながら、秋田県内の専門研修医師のキャリアアップを全面的にサポートする体制を整えてゆきます。本プログラムには秋田大学医学部附属病院専門医育成プログラム参加者のみならず、県内の病院で後期研修を行っている卒後 3 年目から 8 年目の医師なら誰でも参加できます。

事業を開始するにあたり、まず、平成 20 年 11 月に、医師キャリア形成支援センターを設立し、専任講師 2 名、事務職員 2 名を雇用しました。さらに平成 21 年 3 月に、秋田大学臨床棟 4 階に、教員、事務員室、テレビ会議室、クリニカルシミュレーションセンターが完成し、順調な滑り出しです。

クリニカルシミュレーションセンターでは、各種シミュレータをもちいた臨床研修を行うことが可能です。臨床研修には、従来からの行われている、実際の臨床の現場で学ぶ『オン・ザ・ジョブ・トレーニング On the Job Training』は欠かせませんが、最近では、シミュレータを利用した『オフ・ザ・ジョブ・トレーニング』が普及し始めました。侵襲を伴う手技の研修や、頻度は低いが高篤な疾患の対応の研修に有用であると考えられています。現在、高性能シミュレータ SimMan 3G、乳児シミュレータ SimBaby、内視鏡シミュレータ、採血・静脈路確保シミュレータ、等が利用可能です。SimMan 3G は、通常の ACLS トレーニングだけでなく、実際の臨床現場では経験する頻度が低いながらも、診断、処置の困難な重篤な症例を再現した多くのシナリオが利用可能な患者シミュレータです。コードレスタイプとなった最新式であり、国内では、秋田大学が初導入となります。内視鏡シミュレータは、3次元コンピュータイメージを使用したリアルな消化管内の観察トレーニングのみでなく、上部消化管では E R C P、下部では、生検やポリペクトミーのトレーニングが可能です。気管支鏡による B A L、生検などの侵襲的手技の研修も可能となります。

テレビ会議システムも、このプログラムの参加により利用が可能になります。ハイビジョン高画質が特徴である S O N Y のテレビ会議システム I P E L A を、秋田大学と、由利組合総合病院、山本組合総合病院、市立大森病院に導入し、今後も、毎年、連携臨床研修病院へ追加導入していく予定です。症例コンサルテーション、連携臨床研修病院間や連携大学病院間の会議



伊藤センター長(中央)と医師キャリア形成支援センターのメンバー

に利用するだけでなく、高画質を活かした、手術ライブ、心臓カテーテル検査ライブなどの実現を目指しています。同時に、3e conference という web カメラとヘッドセットをもちいた手軽なテレビ会議システムも導入し、プログラム参加者が、遠距離でも気軽に症例コンサルテーションが可能となります。

詳細は当ホームページをご覧くださいと思います。



<http://career.hos.akita-u.ac.jp>

ぜひ秋田県で専門医研修を行うすべての医師に参加してもらい、皆さまの専門研修を秋田全体で支えてより良いものにしてゆきたいと考えております。皆さまのご協力とご支援をこころよりお願い申し上げます。

秋田大学医学部附属病院
医師キャリア形成支援センター長
伊藤 宏

New ドクターショートサポートバンク (秋田県医師無料職業紹介所)

職 業安定法に基づく秋田県医師無料職業紹介所(ドクターバンク)を介し、県内の病院または診療所での勤務を希望する医師に対し就職先の斡旋、紹介等を行います。

○常勤・非常勤医師のほか、学会出張やリフレッシュ休暇を取得する勤務医の代診等に対応するため、1日単位での就業(診療支援)をフォローする「ドクターショートサポートバンク」をはじめました。

支援医師

首都圏医師
開業医
退職医師等

・報酬
・旅費
・補償
など
求職登録
(就労希望)

医療機関

病院
診療所

(応援要請)
求人登録
・学会出張
・冠婚葬祭
・夏季休暇
など

ドクターショートサポートバンク

秋田県医師無料職業紹介所

支援医師 ← 条件のすり合わせ → 医療機関



支援医師

診療支援
雇用契約成立
報酬等支払

医療機関



お問い合わせ先
(求職票及び求人票の送付先)

秋田県医師無料職業紹介所 (秋田県医務薬事課医師確保対策推進室内)
電話：018-860-1410 FAX：018-860-3883 E-mail:ishikakuho@pref.akita.lg.jp
秋田県東京事務所
電話：03-5212-9115 FAX：03-5212-9116 E-mail:tokyo@pref.akita.lg.jp

産科・小児科医療を 県民とともに考えるフォーラム



平成21年2月15日(日)に、秋田市アルヴェ（秋田拠点センター）を会場に、「ここが知りたい！かしこい産み方・医者のかかり方フォーラム」が開催されました。

小児科や産婦人科の医師が不足している中、軽症で時間外受診をする「コンビニ受診」など、診療を受ける側の意識も、問題となっており、これからの地域医療をどうやって守っていけばよいのか、県民の皆さんと一緒に考えることを目的としたフォーラムでした。



秋田赤十字病院の平野秀人先生の講演では、激務や訴訟リスクの高さから産婦人科医が疲弊・減少している現状や、妊娠出産は常に危険と隣合わせであり、妊婦自身が、自分と胎児の健康を守るという意識が重要であることなど、お話していただきました。

兵庫県丹波新聞社の足立智和記者からは、兵庫県立柏原病院の小児科が休診の危機に瀕している現状を報道したこと、地域の子育て中のお母さん達による「小児科を守る会」が設立され、小児科の適正受診の周知や、医師への「ありがとう運動」などの取組により、小児科医が確保され、休診が回避されたことについて、お話していただきました。



講演後、県内の育児支援グループの代表者の方々を進行役に、3グループに分かれて自由に意見交換が行われ、医師の不足・地域偏在は住民が自分たちの問題としてとらえ、目を向けていく必要があるなどの意見が出されました。

参加された皆さんのアンケートでは、「産科医の先生が、お産をどう考えているのかを、先生ご自身の言葉で聞くことができ、貴重な時間でした」「お医者さんを守ることは自分を守ること、という言葉が印象的でした」「医師、医学生、行政、保育師、母親など、色々な人の意見が聴けて、とても楽しかった」「今の医師不足の悪循環のチェーンを外すには、私達、県民ひとり一人の心掛けが大事です。秋田で頑張っているお医者さん達を、県民みんなで、支えていきましょう」などの、意見、感想をいただきました。



今年度もフォーラムの開催を予定しております。

DVD貸出します

フォーラムの内容をまとめたDVD(20分)を作成しました。希望する方には無料貸出いたしますので、ご連絡ください。

☆お問い合わせ先☆

E-mail : ishikakuho@pref.akita.lg.jp Tel.018-860-1410

秋田県健康福祉部医務薬事課 医師確保対策推進室



指導医メッセージ



「より多くの経験を」

山本組合総合病院
内科科長 波多野善明 先生



私の勤務する山本組合総合病院は世界自然遺産白神山地のお膝元にあり、バスケットボールの街として全国的に有名なことは皆さんもご存知だと思います。当院の医療圏は非常に広範で、秋田県北部のほぼ全市町村のほかに、青森県深浦町までの日本海沿岸にまで及んでいます。この広範な地域から小児医療、老人

医療、救急疾患から慢性疾患まで多彩な患者さんが集まり、救急医療においては、この地域の救急患者の98%以上が当院を受診されるため、幅広い疾患に対するプライマリーケアを経験できます。診療科数、病院規模(534床)に比べて研修医の募集定員を少なくしているため、研修医一人当たりの症例数、バリエーションが豊富となり、また、指導医からの指導も受けやすくなります。

私は卒後22年になり、大学病院勤務や当院のプログラム責任者として多くの研修医に接してきましたが、医師として「自分の考えを持つ」ように常に心がけて欲しいと思っています。初期研修の2年間でより多くの経験をし、自分の考えを組み立てることにより問題解決能力を身につけていけば、その後も大きく飛躍できると思います。患者さんの診療を通じ、自ら問題意識を持って積極的に考え、行動していくことで、より実りのある研修になることでしょう。研修医の皆さんを職員全員で支えてゆきます。まずは病院を見学に来てみてください。



本荘第一病院

〒015-8567 由利本荘市岩瀬下110番地
tel 0184-22-0111 (代表)

当院はJR羽後本荘駅より車で3分の場所に位置し、子吉川河川敷に隣接しています。病院正面からは出羽富士鳥海山、8階からは日本海が一望できます。

「病院は、医療水準が一定以上のものであれば一番大事なことは、患者さんに対するサービスであり、地域の住民に基盤と重点を置いて医療を展開しなければならない」として『地域と手をつなぐ医療』を理念に掲げ1988年7月2日に設立しました。

救急告示病院、日本医療機能評価機構認定病院、人間ドック健診施設機能評価認定病院、医師臨床研修指定病院、日本がん治療認定研修病院として、理念をモットーに職員みんなが助け合い、患者さんにより満足してもらい、自分たちもレベルアップ出来るよう知恵を出し合い、創意工夫して医療を行ってきました。大病院ではありませんが症例も多数で、中規模病院とは思えないほど高度な医療を提供できるようにと日々頑張っています。そのため各部門のエキスパートとの関わりは必須です。その関わりを大切にしていることが、研修医を大きく育てていくのだと思います。



医学生のための臨床研修指定病院合同セミナー(主催:メディカル・プリンシプル社)が東京ビックサイトで開催されます。今年も「秋田県病院群(臨床研修協議会)」として参加し、たくさんの研修医が秋田の臨床研修病院へ来てくれるよう各病院のPRをします。



平成21年7月19日(日)

10:00~17:00 東京ビックサイト 東4・5ホール(東京都江東区有明)

…お問い合わせ先…

E-mail: ishikakuho@pref.akita.lg.jp Tel. 018-860-1410

秋田県健康福祉部医務薬事課 医師確保対策推進室 〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号